

諏訪地方の経済概況速報

平成25年10月

(平成25年9月末調査)

平成25年10月25日
長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

諏訪信用金庫
経営相談室

<http://www.suwashinkin.co.jp>

TEL 0266(23)4567

FAX 0266(23)8044

		実 数	前年同期比	
有効求人倍率【 8月】	諏訪公共職業安定所管内	0.87 倍	0.06 ポイント	
手形交換高【 9月】 (諏訪手形交換所扱)	枚 数	7,547 枚	2,362 枚	
	金 額	10,223 百万円	3,918 百万円	
	うち不渡り 発生状況	枚 数	10 枚	7 枚
	金 額	3,288 千円	1,774 千円	
電力使用量【 9月】 (中電諏訪営業所管内)	電灯電力計	43,075 MWh	△5.7 %	
	高圧電力計	95,305 MWh	△0.3 %	
	合 計	138,380 MWh	△2.1 %	
車庫証明取扱件数【 9月】(諏訪地方合計)		996 件	△1.3 %	
新設住宅着工戸数【H25年4月～8月】(諏訪管内)		599 戸	38.0 %	

□本文は、当金庫の取引先約 130 社へのヒアリング調査による取りまとめ。

地域の概況

9月には、2020年夏季五輪の東京開催が決定し、リニア中央新幹線の詳細ルートが発表され、10月初めには首相が来年4月の消費税率引き上げを表明するなど、今後の日本経済情勢の節目となる出来事が続いた。諏訪地方では、消費増税経過措置期限の9月末に向けた住宅建設の駆け込み需要が目立った。製造業は、同じメーカーの下請けでも受注量に差があるなど業況に格差が現れ、材料費や燃料費のコスト高の懸念は続く。雇用は有効求人倍率が県水準まで近づいたものの、不安定感がある。総体的に業況はまだら模様で、本格的な経済回復を実感できない企業が多い。

●製造業 「自動車関連の受注は概ね増加基調」

自動車部品関連の下請企業は、総体的に受注量が増加基調になっている企業が多い。今後も駆け込み需要などで受注増を期待する声も多いが、生産工程が海外に移行し、受注が減少したケースもある。金属部品加工は、自動車や医療機器部品関連は堅調だが、技術力や取引先の状況によって受注量に差が見られ、コストダウン要請もある。工作機械などの一般機械は、自動車関連以外は中国の景気減速の影響などで低調に推移する企業が多い。ただ、まだ活発ではないものの、取引先の設備投資需要が徐々に回復する兆しを感じる企業がある。基板業界は総体的に低調に推移している。半導体関連は一部で受注増の動きが見られる。精密機械関連では車載用カメラ関連は堅調だが、国内向けのレンズ関連装置部品の受注は減少傾向となっている。取引先の現地生産化の影響を受けた企業もある。

●商業 「値上げ傾向の中で競争激化」

諏訪地方の9月の天候は、晴れた日が多かったものの、中旬の連休時に台風が通過し、大雨となり、客足に影響があった。天候の影響で野菜は高値傾向だった。彼岸を中心に、肉や魚類の生鮮関

連は好調で、飲料はほぼ横這いだった。小売業では、原材料値上がりの影響を受け、売上増や利益確保が厳しい中で、業者間の競争が激化している。プライベートブランド(PB)に力を入れたり、容量を落として値段は据え置きするなどの対応もある。ガソリン価格は下落傾向だが、高値圏が続いた。自動車販売は、諏訪地方の9月の車庫証明件数(軽自動車除く)が996件と、エコカー補助金効果があった前年同月比で13件減少(△1.3%)したが、前月比では208件増加(26.4%)した。軽自動車の販売が好調。駆け込み需要で来年3月までは増加を見込む企業が多い。

●観光・サービス業 「2回の3連休と台風が明暗」

上諏訪温泉の宿泊人数は、前年同期比で90%台前半～120%台中盤の施設が多く、総体では前年並みとなった。新作花火大会や2回の3連休がプラス要因となった。施設によって営業力に差があり、秋以降の予約に影響している。蓼科・白樺湖など高原の観光地は、連休の入り込みが期待されたが、台風の影響でキャンセルが出た施設が多い。富士見高原は夏季シーズンのピークが過ぎ、モトクロスバイクなどの団体客が減少したが、4月からの累計では売上高、来場者数とも前年同期累計比で増加した。この夏の延利用者数は前年同期比で上諏訪温泉、下諏訪温泉、八島高原が減少し、霧ヶ峰、蓼科、白樺湖、車山で増加した。記録的な猛暑で涼を求める観光客が高原などを訪れた。

●建設業 「消費増税経過措置の期限で、駆け込み需要目立つ」

市町村の9月の発注工事は建築工事10件、土木工事・下水道工事56件、その他工事14件の合計80件800百万円で、前年同月比で件数は7件増加、契約金額は271百万円(51.2%)の増加となった。また、県関係の9月の公共工事(地元業者受注分)は17件、1,222百万円だった。平成25年4月～9月の累計契約は91件3,633百万円で、前年同期累計比で件数は12件、契約金額は1,318百万円(57.0%)増加した。公共工事の代人や職人不足の声が多くなっている。

民間工事は、諏訪地方の8月の新設住宅着工戸数が167戸と前年同月比73戸の増加(77.7%)となった。長野県内の8月の新設住宅着工戸数は1,140戸で、前年同月比22.4%増加した。9月は消費増税経過措置期限前の駆け込み需要が顕著だった。

●雇用 「有効求人倍率が県水準まで回復も全国を下回る」

諏訪地域の8月の有効求人倍率は、前年同月を0.06ポイント、前月を0.03ポイント上回る0.87倍となった。全国の0.95倍は下回るものの、長野県の0.88倍とほぼ同水準となり、前月比で4ヶ月連続、前年同期比で3ヶ月連続上回った。新規求人(全数)は1,340人で前年同月比12人減少(△0.9%)し、新規求職者数は912人で前年同月比115人減少(△11.2%)した。業種別の前年同月比の新規求人数は、建設業で41.3%、製造業で28.8%増加したが、飲食店・宿泊業で37.8%減少した。1件10人以上の人員整理はなく、事業主都合による雇用保険資格喪失者は75人で前年同月比75人減少、前月より208人減少した。有効求人倍率は、リーマンショックの落ち込み後で最高値まで回復してきているが、まだ1倍台を下回り、事業主都合による離職者も続いていることなどから、諏訪地方の雇用情勢には、景気回復要素が本格的に反映されているとは言えない状況となっている。

業種別動向

1. 電気機械

プリント基板	基板関係業界は全体的に低調に推移している。
プリンター	在庫調整で受注が大幅減少していたが、やや増加傾向を示した。ただ、前年並みまでの回復には時間がかかると見られる。
コンタクター・リレー	堅調に推移する電源装置部門に加え、低調だった分野の受注が増加に転じるなど、全体的に増加傾向となっている。

2. 輸送用機械

自動車	製造工程の移転やコストダウン要請はあるものの、受注量が増加し、前年同期比で売上を伸ばしている企業が増えている。駆け込み需要による受注増が期待できる一方で、4月からの反動減を懸念する声もある。
ピストンリング・シリンダーライナー	国内は高級車向け、海外は北米が好調。落ち込んでいた欧州の中型車向けもやや回復傾向になっている。
船外機	在庫調整で減産が続いていた前年同期に比べて大幅増。北米向けレジャー用4サイクルエンジンが好調。欧州向けは依然低調に推移している。

3. 一般機械

工作機械・専用機	自動車関連以外は中国の景気減速の影響などで低調。ただ、徐々に取引先の設備投資需要に回復の兆しを感じる企業もある。
搬送用機械	総体的に業界は堅調で、新規受注や引き合いが増え、先行きも堅調に推移する見通しとなっている。
金型	増減はあるものの、総体的には低調に推移している。
ダイカスト	取引先によって区々となっている。

4. カメラ・レンズ

デジタルカメラ	全国のデジタルスチルカメラの8月の生産台数は546万台で、前月比8.0%の増加、前年同月比では37.8%の減少となった。8月の出荷台数は国内出荷68万台、海外出荷502万台の合計570万台で、前月比8.4%増加、前年同月比は34.7%減少となっている。親企業の業況などの影響を受けて受注減が続く中で、新機種の受注を確保し、来年から増産を見込む所もある。国内用高級機や車載用カメラ関連は総じて堅調に推移している。
レンズ	国内のコンパクトレンズ加工は減少傾向が続く。ライフルスコープは好調に推移している。

5. 繊維

ニット

秋冬物の生産のピークの時期に入り、高級品を中心に受注が増加傾向となっている。

6. 食品

寒天
味噌

健康食品としての根強い人気があり、割安の粉寒天が主流になっている。材料価格高騰と、円安による仕入れ価格上昇が収益を圧迫する状況が続いている。

7. 製材

諏訪地方の8月の木造住宅着工戸数は110戸で、前年同月に比べ31戸増加した。4月からの累計は484戸で前年同月比108戸増加している。

8. 建設

公共工事

9月に地元業者が受注した県関係の公共工事は、諏訪建設事務所13件、農地整備課1件、長野国道事務所等国関係2件、その他土木工事1件の合計17件で、契約金額は1,222百万円だった。平成25年4月～9月の累計では91件、3,633百万円となり、前年同期累計比では件数で12件、契約金額で1,318百万円の増(57.0%)となっている。

市町村の9月の発注工事は、建築工事10件218百万円、土木工事及び下水道工事56件506百万円、その他工事14件76百万円の合計80件、800百万円で、前年同月比で件数は7件、契約金額は271百万円増となった。

民間工事

諏訪地方の8月の新設住宅着工戸数は167戸で、前年同月比で73戸の増加(77.7%)となった。前年同月比の利用関係別では、「持家」は31戸増加の110戸、「貸家」は14戸増加の24戸、「分譲」は2戸減少の3戸となった。平成25年4月～8月の累計は599戸で、前年同期累計比165戸、38.0%の増加となった。リフォームが9月1ヶ月で25件の受注があった企業など、消費増税経過措置期限前の駆け込み需要が顕著だった。一方で人手や材料不足も現れている。

また、長野県内の8月の新設住宅着工戸数は1,140戸で、前年同月比22.4%の増加となっている。前年同月比の利用関係別では、「持家」が788戸で18.3%増加、「貸家」は225戸で13.1%増加、「分譲」は96戸で47.7%の増加となった。

9. 商業

衣料	気温の変化で婦人、紳士服ともベストや軽いジャケット類が売れ筋だった。
食料品	日常的な食品には消費者の節約志向が強く、競争激化の中で値上げもあり、鈍化傾向の客数を懸念する小売店もある。雑キノコは豊作だった。
家電製品	エアコンのピークが過ぎ、総体的に家電関連の販売は振るわなかった。
自動車	県内の新車新規登録台数は登録車が10ヶ月ぶりに増加し、軽自動車は3ヶ月連続で増加している。全体では前年同月比1,749台増加(17.5%)の11,769台で、10ヶ月ぶりに増加となった。
ホームセンター	敷物や椅子などの運動会用品や秋園芸の種、肥料などが好調で、月末の寒さで、こたつや暖房カーペットなども出始めた。

10. 観光

上諏訪温泉	国内の団体旅行客が他方面へ流出する中、台湾やタイを中心としたインバウンドを含め、紅葉シーズンの入り込みが期待されている。
蓼科・白樺湖・車山等	多くの施設が中旬の台風の影響を受け、売上が前年同期比で減少した。好天になった後半はやや盛り返した。
下諏訪温泉	諏訪の長い夜イベントなどで来訪者が増加し、新作花火では8月の諏訪湖祭湖上花火大会が中止になったこともあって満館だった施設もある。
諏訪大社	上社・下社合わせた9月の参拝者数は約49千人。前年同期比では約12千人、19.5%の減少となった。

●企業からのコメント

- ・ マイナス要因がなく、駆け込み需要も期待できる。(自動車部品関連製造業)
- ・ 製造工程が海外に移り、減少傾向となった。(自動車部品関連製造業)
- ・ 地元建築会社からの注文の勢いが強い。仕事はあるが、人がいない、材料がない状況。東京五輪決定もあって品薄感で、価格も上がっている。(建材卸業)
- ・ 住宅関連企業の利用が増加している。(飲食店)
- ・ 岡谷病院や諏訪中央病院などで入札の不調が続いた。東京五輪や復興需要で今後、スーパーゼネコンは地方の小規模案件に手を出さなくなり、地方で箱物ができなくなるのでは(建設業)
- ・ TPPの影響で、ナンバーワン企業と組まないと生き残れない時代となりそう。国内優良企業の下請けでもうかうかしてられない。(半導体関連製造業)
- ・ 燃料代の上昇は収益に大きく影響する。年契約の単価で引き上げられず苦しい。(運送業)
- ・ 経済成長しない時代に、原価が上がり、価格転嫁できず、給料を上げて会社がやっていけるのか疑問。(小売業)
- ・ スマホの影響か、おもちゃの売上が減少している。(小売業)
- ・ 大手が低価格を打ち出して営業し、設備で劣る旅館に顧客が流れなくなっている。(観光業)